



経済理論学会 第58回大会

プログラム

2010年10月23日(土)・24日(日)

関西大学 経済学部

共通論題 社会経済システムの変革と政治経済学の課題
——日本は変わるか——

第1会場 F401 第2日： 午後の部 13時10分～17時00分

東京経済大学

長島誠一 グローバル資本蓄積の矛盾とエコロジカル社会主義

東京大学

小幡道昭 新たな資本主義の勃興と原理論の課題

——資本主義の多重起源説——

立命館大学

森岡真史 社会主義とは何であったか／何でありうるか

——科学・闘争・規範——

運営委員： 駒澤大学 姉齒 暁 九州大学 磯谷明德 中央大学 建部正義

第1日： 午前の部 9時30分～12時10分

司会・コメンテーター

第1分科会 **第6会場 C403** 共通論題関連

福島大学
後藤康夫

兵庫県立大学
北野正一 農林牧漁の振興による内需拡大策

金沢大学
海野八尋

東京自治体問題研究所
東 洋 志 <新しい社会経済システム>をどう構想するか

北海学園大学
神山義治

京都大学
大西 広 問われているのは景気対策ではなく構造転換
——新自由主義に帰結したケインズ主義に警戒を——

兵庫県立大学
北野正一

第2分科会 **第7会場 C404** 恐慌と循環

富山大学
星野富一

東京大学・院
岩田佳久 クレマン・ジュグラーの景気循環論
——世界経済と学説史的位置付け——

中央大学
岩下有司

岐阜経済大学
高橋 勉 市場メカニズムと恐慌
——商品過剰説と資本過剰説との統合——

中央大学
松橋 透

桜美林大学
前畑雪彦 政策金利の成立メカニズムと世界恐慌の変容形態

中央大学
米田 貢

第3分科会 **第4会場 C401** 金融システムとアメリカ経済

法政大学
横内正雄

一橋大学
石倉雅男 金融システムの変容と内生的貨幣供給
——貸出債権の証券化を中心に——

大月短期大学
内藤敦之

東京大学・院
横川太郎 戦後アメリカ経済と資金運用者

日本大学・元
春田素夫

駒澤大学
姉齒 暁 アメリカ経済と消費者信用の位相

國學院栃木短大
秋山誠一

第4分科会 **第5会場 C402** 政治経済学の課題

中央大学
一井 昭

中央大学
鳥居伸好 現代資本主義における資本蓄積と経済格差

首都大学東京
宮川 彰

鹿児島国際大学
八尾信光 今日における社会経済学の課題

中央大学・名
鶴田満彦

第5分科会 **第2会場 C203** 価値・価格論

広島修道大学
亀崎澄夫

山口大学
植村高久 価格論の説得力

信州大学
青才高志

関西大学・元
野口 宏 情報財とサービス財の価値論

慶應義塾大学
北村洋基

第6分科会 **第8会場 C506** 書評分科会

北海道大学
岡部洋實

専修大学
清水真志 小幡道昭『経済原論——基礎と演習』東京大学出版会

学振特別研究員・前
塚本 恭章 森岡孝二『強欲資本主義の時代とその終焉』桜井書店

静岡大学
小倉将志郎 福田泰雄『コーポレート・グローバリゼーションと地域主権』桜井書店

Problems of the Globalized Economy and Global Economic Crisis

Kangkook Lee (Ritsumeikan University), “The Political Economy of Global Imbalances and the Global Financial Crisis: Neoliberalism, Unbalanced Globalization and Contradictions”

Alicia Puyana Mutis (FLACSO-México), “MEXICO 1980-2009: The Paradoxes of a Globalized Economy”

Pritam Singh (Oxford Brookes University), “Alternative Perspectives on the Sustainability Implications of the Global Economic Crisis and Spatial Shift in the Global Economy”

第1日： 午後の部 13時10分～15時50分

第8分科会 **第4会場 C401** 非物質的蓄積レジーム

四天王寺大学

中原隆幸 認知的蓄積体制と政治的なるもの
——象徴的媒介としての集会的遺産の認知をめぐる——

愛知大学・講

山本泰三 認知科学と現代の賃労働関係

中央農業総研センター

須田文明 品質のコンヴェンションと評価のプラグマティズム
——実践共同体としてのワイン批評をめぐる——

大月短期大学
内藤敦之

大阪産業大学
斉藤日出治

関西大学
若森章孝

大月短期大学
内藤敦之

第9分科会 **第2会場 C203** ジェンダー

長岡高専

佐藤公俊 ビアトリス・ウェブのフェミニズム

法政大学・講

橋本美由紀 ジェンダー統計と福祉国家の政策
——無償労働評価との関連を中心に——

弘前大学
鈴木和雄

武蔵大学
船木恵子

金沢大学
杉橋やよい

第10分科会 **第6会場 C403** 成長と危機

阪南大学

西洋 制度階層性と調整の時間的相違を伴ったマクロ経済モデル

京都大学

佐々木啓明 カレツキアン・モデルにおける長期レジーム
——長期均衡は賃金主導型なのか利潤主導型なのか——

九州大学

稲富信博 イギリスの長期経済成長と経済危機

横浜国立大学
植村博恭

法政大学
佐藤良一

阪南大学
西洋

法政大学
河村哲二

第11分科会 **第5会場 C402** 企業統治

北海学園大学

河西 勝 公開会社の現代化
——法人金融・統治・課税の二大転換——

京都大学・院

福田 順 日本企業の配当政策と株主構成

駒澤大学
有井行夫

元日本道路公団
片桐幸雄

九州大学
磯谷明徳

第12分科会 第8会場 C506 資本論研究

東北大学
大村 泉 マルクス資本回転論の論理構造
——エンゲルスによる『資本論』第2巻第2篇編集の根本問題——
岩手大学・名
早坂啓造 『資本論』第II部第3篇の構成をめぐる
——MEGA2II/13の編集を通して見えてきたもの——
法政大学・名
大谷禎之介 マルクスのmonied capitalという語はどこからきたのか

信州大学
青才高志
愛媛大学
赤間道夫
愛媛大学
赤間道夫
立教大学
大友敏明

第13分科会 第7会場 C404 社会主義

京都大学・院
中野嘉彦 社会主義への通過点論としての河上肇の株式会社論
一橋大学・院
関口修道 「社会的所有」とはなにか？
大阪経済法科大学
山本広太郎 マルクス社会主義論の再検討

摂南大学
八木紀一郎
摂南大学
八木紀一郎
立命館大学・名
芦田文夫
鹿児島国際大学
八尾信光

第14分科会 第3会場 C205 英語セッションII

ヨーク大学・元
関根友彦

On Michael Hudson's Super Imperialism Thesis

Michael Hudson (President, Institute for Study of Long Term Economic Trends, ISLET),
“Super Imperialism and the Current Economic Crisis in the World” (交渉中)

John R. Bell (formerly of Seneca College, Toronto, Canada), “Disintegration of Capitalism in the
light of Uno's *Keizai-Seisakuron*”

Richard Westra (Professor of Economics, Pusan National University, Korea), “The Relevance of
Hudson's Super-Imperialism Thesis to Sekine's View on “Ex-Capitalist Transition”

特別講演 (16時00分～17時00分) 第1会場 F401

武蔵大学
横川信治

James Heintz (University of Massachusetts), “Decent Work, Globalization, and
Crisis: Rethinking Employment Policy for the Current Era”

会員総会 (17時10分～18時00分) 第1会場 F401

第1回経済理論学会奨励賞授与式 (18時00分～18時10分) 第1会場 F401

懇親会 (18時30分～20時30分) 関西大学100周年記念会館ホール

第2日： 午前の部 9時30分～12時10分

第15分科会 第2会場 C203 数理マルクス経済学

京都大学・院
田添篤史 最適成長モデルの枠組みを用いた資産配分の動態の分析
京都大学・院
劉 歆 人口成長、生産要素希少性および農業の集約化
獨協大学
山下裕歩 資本主義の発展段階と資産格差

京都大学
大西 広
獨協大学
山下裕歩
京都大学
大西 広
九州産業大学
関根順一

第16分科会 第6会場 C403 環境の政治経済学

立命館大学
藤岡 惇 帰りなん、いざ豊穡の大地へ
——『エコ社会経済学』の提唱——
東京大学・名
馬場宏二 過剰富裕化と資本主義の根源的危機
滋賀大学
梅澤直樹 環境問題への社会経済学的アプローチ
——水俣病から学ぶべきもの——

山形大学
鈴木 均
兵庫県立大学
北野正一
青森大学
戸塚茂雄
大阪産業大学
斉藤日出治

第17分科会 第5会場 C402 金融政策と景気対策

駒澤大学
瀬戸岡 紘 恐慌対策にケインズ主義回帰を期待することは反動である
竹内徹夫 景気対策としての減価型地域通貨と貨幣の諸機能
大月短期大学
内藤敦之 インフレーション目標政策論の批判的検討

中央大学
建部正義
福島大学
後藤康夫
埼玉大学
結城剛志
一橋大学
石倉雅男

第18分科会 第4会場 C401 労働過程

東京大学・院
阿部浩之 ケア領域の労働過程
——感情労働論の視座から——
北海道大学・院
小池一仁 労働過程における主体像の構築
横浜国立大学
土井日出夫 運輸労働と物神性

九州大学
稲富信博
学振特別研究員・前
塚本恭章
東京大学
小幡道昭
中央大学
佐藤拓也

第19分科会 第3会場 C205 雇用と労働

兵庫県立大・院
松浦 章 ホワイトカラー労働者の長時間労働と「みなし労働時間制」
——損保産業の現場から——
基礎経済科学研究所
高田好章 製造業派遣にみる派遣労働者と派遣会社の実態
関西大学・院
中野裕史 (書評) 浪江巖『労働管理の基本構造』晃洋書房

九州産業大学
山田鋭夫
関西大学
森岡孝二
大阪経済大学
伊藤大一

第20分科会 第8会場 C506 変革と社会理論

大阪産業大学
斉藤日出治 経済学の言説と市民社会のヘゲモニー闘争
一橋大学・院
秋山道宏 現代における社会科学の展開とカール・マルクスの社会理論
——「カテゴリーの人格化」を観点とした土台・上部構造論の再検討——
大阪経済大学・講
武井博之 現代日本における「シャドウ・ワーク」の復権
——『資本論』等による変革主体形成の探求——

立命館大学
角田修一
関西大学
若森章孝
首都大学東京
宮川 彰
一橋大学
石倉雅男

分科会タイムテーブル

午 前 の 部	第 1 報 告	第 2 報 告	第 3 報 告
報 告 (30 分)	9:30~10:00	10:25~10:55	11:20~11:50
コ メ ン ト (05 分)	10:00~10:05	10:55~11:00	11:50~11:55
討 論 (15 分)	10:05~10:20	11:00~11:15	11:55~12:10
休 憩 (05 分)	10:20~10:25	11:15~11:20	
午 後 の 部	第 1 報 告	第 2 報 告	第 3 報 告
報 告 (30 分)	13:10~13:40	14:05~14:35	15:00~15:30
コ メ ン ト (05 分)	13:40~13:45	14:35~14:40	15:30~15:35
討 論 (15 分)	13:45~14:00	14:40~14:55	15:35~15:50
休 憩 (05 分)	14:00~14:05	14:55~15:00	

共通論題タイムテーブル

司会解題 (10 分)	13:10~13:20
第 1 報 告 (30 分)	13:20~13:50
第 2 報 告 (30 分)	13:50~14:20
第 3 報 告 (30 分)	14:20~14:50
休 憩 (20 分)	14:50~15:10
一般討論 (110 分)	15:10~17:00



会場（関西大学経済学部）へのアクセスは以下のサイトをご参照ください。

交通アクセス <http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html>

千里山キャンパス <http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>

新大阪駅から 地下鉄御堂筋線で「西中島南方」まで行き、阪急「南方」乗り換えて阪急千里線の「関大前」へ。「南方」で京都方面行きの電車が来た場合は「淡路」で千里線に乗り換え。約 40 分
 関西空港から いったん「新大阪」まで乗り継いで、上の経路でおいでください。 約 2 時間
 大阪空港から モノレールで「山田」まで行き、阪急千里線の「山田」から「関大前」へ。 約 40 分

「関大前」では北口を出て前方（千里山方向）に 150m ほど進み、右折してゆるやかな坂道を 250m ほど行くと正門があります。南口からは土曜日のみエスカレーターを利用できます。「関大前」から会場まではどちらのコースも徒歩 7~8 分。図の中央部 C の右側の 7 階建て、第 2 学舎 2 号館入口が受付会場です。